

お話の学習指導案

教育目標

題名 ・ チェジュ島 (とう) のキム・マンドク

年齢 ・ 児童(6~9歳)

主題 ・ 目標:チェジュの人びとをたすけるために、じぶんのざいぶつをわけあたえたキム・マンドクのお話をたのしくきく。
・ 主題:わかちあい

キーワード ・ 女、じょせい、キム・マンドク、チョソン、チェジュ 島 (とう)、こめ、こんごうざん (金剛山)、りょうこう、きふ、こくもつ

韓国文化 ・ 目標:うつくしいチェジュ島 (とう) とこんごうざん (金剛山) にきょうみをもつ。
・ 要素:チェジュ島 (とう)、こんごうざん (金剛山)

韓国語

- ・ 目標:お話をきいて、キム・マンドクがしたことをはなす。
- ・ 単語:돕다 (たすける)、구경하다 (見ぶつする)
- ・ 表現:
사람들을 도와주었어요.
(人びとをたすけました。)
금강산을 구경했어요.
[こんごうざん (金剛山) を見ぶつしました。]



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、だいめい、さっさと出てこい！
"チェジュ島(とう)とうのキム・マンドク"です。
みなさん、チェジュ島(とう)は韓国(かんこく)の南がわにある大きな島です
ね。火山がばくはつして、できた島です。チェジュとうはさんたとう(サムダド)サ
ムダドともよばれました。3つのことがおおい島だといういみです。チェジュ 島
(とう)にはかぜ、石、おんながおおいことでゆうめいです。チェジュ 島(とう)
ではほかになにがゆうめいですか？まさに、今日のお話のしゅじんこうである、
‘キム・マンドク’がゆうめいですね。キム・マンドクがなぜゆうめいなのか、お話
をとおして見てみましょう。



お話の始まりの歌を歌う

"チェジュ島(とう)のキム・マンドク"のお話の中へしゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかしむかし、ちょうせんという国がありました。ちょうせんの南がわのはしにはチェジュ島(とう)という島がありました。その島にはキム・マンドクというおんなの子がすんでいました。

キム・マンドクは12さいのおさないとして、りょうしんがなくなりました。みなはおさないキム・マンドクが1人でくらせないとしんぱいしました。キム・マンドクはふだん、じぶんをほんとうのむすめのようにかわいがってくれたおじさんをたずねました。

“おじさん、わたしをちょっとたすけてください!”

おじさんはキム・マンドクが1人でくらせるように、たすけたかったのです。

“マンドク、おまえさえだいじょうぶなら、今日からわたしたちのいえのしごとをてつだいながらいっしょにくらそう。”

“はい、おじさん。ありがとうございます。”

キム・マンドクはその日からおじさんのいえにすみこみ、しょうばいをいっしょうけんめいにたすけました。時間がながれて大人になったキム・マンドクは、おじさんのしごとをたすけながら、おかねをきちんとあつめたおかげで、チェジュ島(とう)でかなりのお金もちになりました。

そんなある日でした。チェジュ島(とう)には雨がだいぶふらなかつたのです。土地がからからにひびわれして、くさも木もからからにかんそうしてしまいました。人びとは雨をふらせてくれとそらにおねがいしましたが、どうしようにもなりませんでした。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“おやまあ、たいへんなことになった!かみさまがたすけてくれないし、わたしたちはどうしたらいいのか!”

“おやまあ、おなかがすいた。わたしたちはなにもできないね。”

このお話をきいた王さまはすぐにチェジュ島(とう)のたみたちにひつようなこくもつをおくれとめいれいしました。しかし、なん日たってもこくもつをのせたふねが来ませんでした。こくもつをのせてチェジュとうにむかったふねがちょうど、ぼうふう雨にあって、こられなくなったのです。

“おやまあ、たいへんなことになった!王さまもたすけてくれないとは、わたしたちはどうしたらいいのか?”

“おやまあ、わたしたちはなにもできないから、なすすべもなく、うえてしんでしまうのか。”

日ごとにうえてしんでいく人びとはふえていきました。キム・マンドクはたべものがなく、おさない子たちもうえてしんだというしらせをきき、ころろがいたみました。キム・マンドクは人びとをたすけたかったのです。そしたらじぶんにできることはなにか、よくかんがえてみました。なにかをけっしんしたかのように、キム・マンドクはめしつかいをよびました。

“おい、そこにだれかいらないのか?”

”はい、おくさま。よばれましたか。”

”さて、このかぎでくらをあけて、こくもつを人びとにすべてわけてあたえろ。”

キム・マンドクは言いました。

“おくさま、くらにつんでいれたこくもつはほかの国にうろうとあつめておいたものではありませんか?”

口演 活動内容



お話を聞かせる

めしつかいはおどろいて、たずねました。

“村の人びとがうえてしんでいっているのに、わたしがしらないふりをしていいのか。そのかん、人びとがものをかってくれたから、わたしがざいさんをあつめることができた。今、その人びとにかえそうとしているのだから、言うとおりにしなさい。”

周囲の人びとはみんなはんたいしましたが、キム・マンドクのところをかえることはできませんでした。なん日、なん日もうえた人びとはわけあたえられたこめをうけとり、とてもよろこびました。

“キム・マンドクはわたしたちをすくった。キム・マンドクがじぶんのざいさんをおしみなくくれたおかげで、わたしたちが生きることができた。”

“キム・マンドク、ばんざい!キム・マンドク、ばんざい!キム・マンドクはチェジュ島(とう)のほこりだ!”

キム・マンドクがしたことは何日ごには王さまのみみまで入りました。

“じょせい1人がうえたチェジュ島(とう)のたみたちを生かした。そらも、王さまもできなかったことをするとは、ほんとうにおどろいたことだ。わたしがちよくせつしょうをあたえるから、はやくここにつれて来なさい。”

王さまの話をきいたしんかたちはみな、はんたいしました。ちょうせんじだいにはチェジュ島(とう)の人びとは島からでることができなかったからです。

しかし、王さまのころはかわりませんでした。ついにキム・マンドクはチェジュ島(とう)を出て、王さまのくらしているハニャンに行きました。王さまはキム・マンドクをあたたくむかえて、言いました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“おまえが大きいことをしたのだなあ。のぞむことがあれば、なんでも言ってくれ。金をほしければ金をあたえるし、こめがほしければこめをやる。”

すると、キム・マンドクはくびをよこにふって、言いました。

“金もこめもひつようありません。しかし、わたしには一つ、おねがいがあります。あれはどうつukしいこんごうざん(金剛山)を見てみたいです。”

こんごうざん(金剛山)は1万2千この、うつukしいみね(峰)でゆうめいな山です。だれでもかならずいちどは行きたいとする山ですが、だれでも行くことができません。

“今まで、じょせいはこんごうざん(金剛山)に行ったことはありません。”

しんかたちははんたいしましたが、王さまはキム・マンドクのねがいをきいてあげたかったのです。

ついにキム・マンドクは王さまのきょかをえて、こんごうざん(金剛山)を見ぶつしました。キム・マンドクのお話はたくさんの人びとにかんどうをあたえて、今もチェジュ島(とう)でつたえられています。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたお話をよくききましたか？

キム・マンドクはみなができないことをしました。どんなことがあったのか、話してみしょうか？そうですね。おなかをすかせた人びとをたすけました。そして、チェジュ島（とう）から出て、ハニャンに行きました。また、こんごうざん（金剛山）も見ぶつしました。おばあちゃんはキム・マンドクがとてもすてきに見えました。

みなさん、キム・マンドクがくらしていたチェジュ島（とう）に行ったことがありますか？

チェジュ島（とう）はむかしからしんこんりょこうで人気。島のまん中ににょっきりとつき出ているハンラ山がとてもすてきですね。キム・マンドクが見ぶつするこんごうざん（金剛山）もたいへんうつくしいです。1万2千このみね（峰）は、口がふさがらないほどうつくしいです。今は南北がぶんだんされていて、こんごうざん（金剛山）にかんたんに行くことができません。とういつされれば、きたちょうせん（北朝鮮）にあるこんごうざん（金剛山）にもぜひ行 ってみたいですね。チェジュ島（とう）とこんごうざん（金剛山）にきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと"チェジュ島(とう)のキム・マンドク"のお話をまとめてみましょう。

“よろこびをわかちあうと2ばいになり、かなしさをわかちあうとはんぶんになる”ということばがあります。みなさんもしゅういの人びととよろこびやかなしさをわかちあう、あたたかいところをもった人になってほしいです。キム・マンドクはおさないときによりょうしんがなくなり、たいへんなかんきょうで生かしました。しかし、あきらめずいっしょうけんめいにどりよくして、お金持ちになりました。また、キム・マンドクはたいへんな人のためにじぶんのものをわけあたえるすてきな人でした。わたしたちがみんなでキム・マンドクに大きなはくしゅをおくりたいとおもいます。そしてわたしたちもほかの‘キム・マンドク’になり、しゅういの人にあたたかいところをわけあたえてみましょう。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんぴはできましたか？

いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。

さようなら！